

STAGE+を楽しむ(32)(HP 収載)  
—ベルリンフィルヨーロッパコンサート 2022—

1. 始めに

前報(31)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ベルリンフィルヨーロッパコンサート 2022 の演奏を選びました。

キリル・ペトレンコの指揮でエリーナ・ガランチャがベリオを歌う

ヨーロッパコンサート 2022

収録日: 2022 年 4 月 30 日

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の創立記念日である 5 月 1 日に毎年行われる「ヨーロッパコンサート」。美しい建物や街の風景と共に音楽を楽しめると大人気です。2022 年、キリル・ペトレンコの指揮のもと行われた本公演は、ラトビアのリエパヤで開催されました。ウクライナへの想いを込めたプログラムに選ばれたのはベリオの「フォーク・ソング」。様々な国の民謡を編曲したもので、各国のアイデンティティを強く感じさせます。今最も人気のメゾソプラノのひとり、エリーナ・ガランチャの歌唱です。

ソリスト:

エリーナ・ガランチャ (メゾソプラノ)

アンサンブル:

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

指揮:

キリル・ペトレンコ

曲目:

ルチアーノ・ベリオ フォーク・ソング (オーケストラ版)



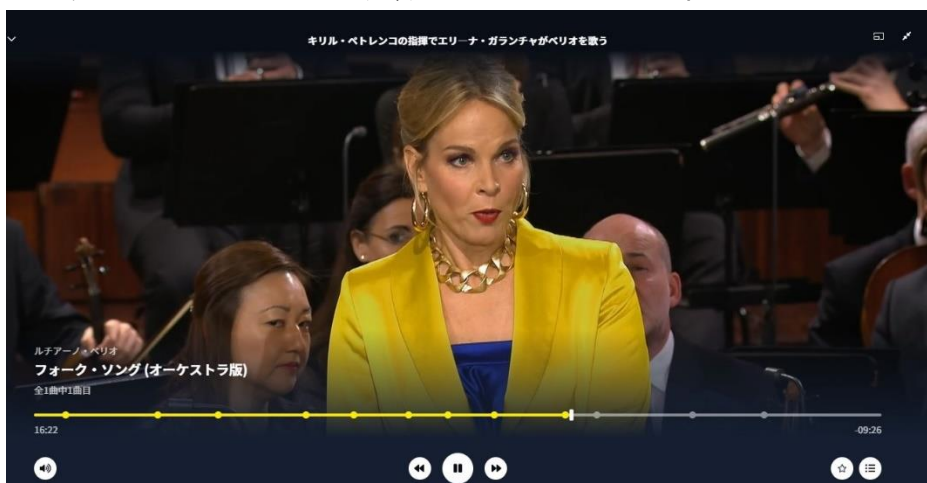
### 3. 試聴の経過

人気のメゾソプラノのガランチャによる各国の民謡を編曲したものの演奏です。ウクライナへの想いを込めたプログラムということでしょうか、ガランチャの衣装は黄色と青色のものです。

ベルリンフィルのヨーロッパコンサートですので、デジタルコンサートホールのアーカイブと比較試聴しようと思いましたが、契約の権利の都合上、日本では公開されていないということでした。

各国の民謡を編曲した曲の歌唱が次々と演奏され、それぞれの国の特徴ある音楽の表情がガランチャのダイナミックな歌唱により表現されました。

音質面では、ガランチャの歌声も、オーケストラの各パートの楽器の質感も十分に捉えられ、ラトビアのホールの音響特性も良さそうです。



### 4. まとめ

以上の STAGE+配信は、最新の収録の演奏で、それだけに音質的にも満足できるレベルでした。これまでの仮想アース、MRF-005T に加えてスピーカーアキュライザ

一の効果も確認できました。

以上